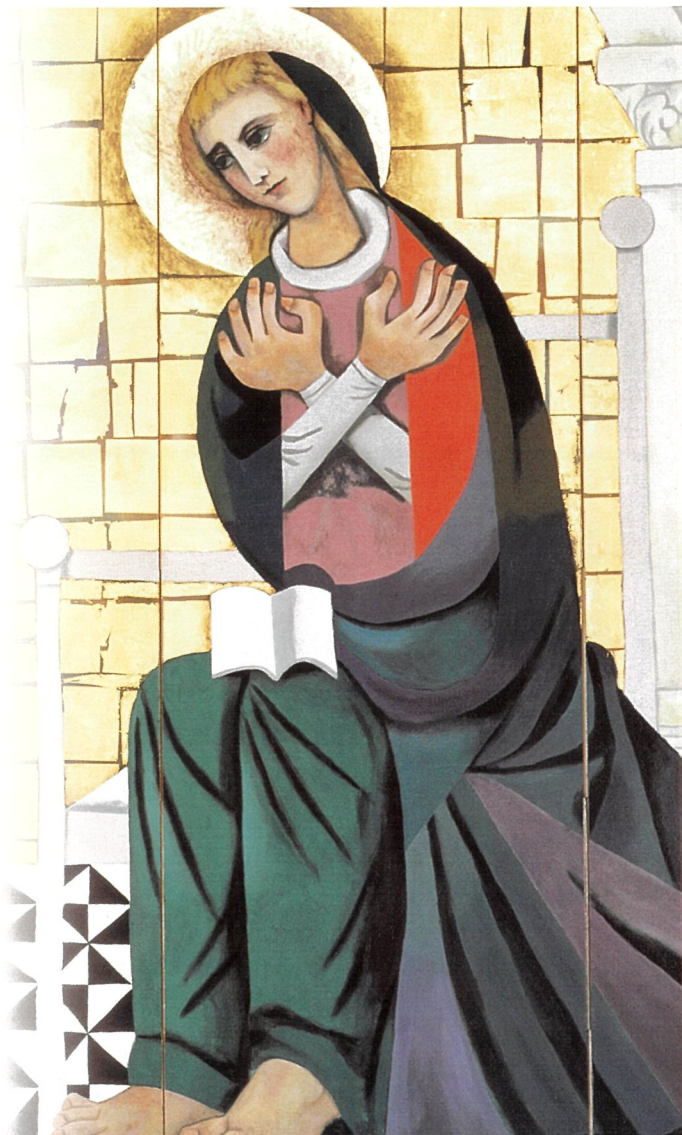




女人出定 1938年 (部分)



受胎告知 1954年 (部分)

企画展

# 神仏への虔<sup>つし</sup>み～ 印象の宗教画

2002・7/2(火)▶10/14(月・祝)

入館料：一般500円・高大生400円・小中生200円  
(20名以上の団体は2割引)

休館日：毎週月曜日  
(ただし休日の場合は、その翌日が休館。)

開館時間：午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007  
<http://www2.ocn.ne.jp/~domoto>



刑架 1954年

企画展

# つっし 神仏への虔み～ 印象の宗教画

堂本印象は極めて敬虔な仏教徒で、「仏画の制作には他の分野の制作以上に純粋な気持ちで取り組むことができる」と語ったほどです。印象は多くの経典や宗教書を読み、先達の傑作を訪ね、日々の研究を怠りませんでした。しかし、これらの知識を礎としながらも、「現代の仏画には現代人の持つ最高、最上の深いものが盛られていなければならない」という芸術家としての制作信条が伴って初めて、数々の制作はより魅力溢れる浪漫を漂わせることとなったのです。

本展では、仏画を始めとする宗教的な画題に因んだ本画、下絵等約60点を展覧いたしますが、各々の作品からは、近代の宗教画家として、印象がいかに得難い存在であったかがうかがえます。

古来、宗教と芸術は人間の最も原始的な表現として生まれ、共に受け継がれてきました。特に宗教が人間生活を強く支配していた時代には、主要な美術作品のほとんどは宗教によって生み出され、また逆に、優れた美術作品が宗教活動をより発展させる役割を担ったのです。宗教と日常生活との関係が希薄になった近代の日本において、印象は宗教画に何を託したのでしょうか。ご鑑賞いただければ幸いです。

2002・7/2(火)▶10/14(月・祝)

入館料：一般500円・高大生400円・小中生200円 (20名以上の団体は2割引)

休館日：毎週月曜日 (ただし休日の場合は、その翌日が休館。)

開館時間：午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

特別行事：●列品解説 7月7日(日) 午後2時から 当館学芸員による作品解説

●大文字・夜間特別開館

8月16日(金) 午後9時まで 3Fサロンから大文字送り火を鑑賞

※特別事業は、いずれも入館料のみ必要。



迦葉作舞 1939年



観音と文殊 1943年



京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007  
http://www2.ocn.ne.jp/~domoto

開館時間：午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料：一般500(400)円

高大生400(320)円

小中生200(160)円 ( )内は、20名以上の団体料金

●交通機関

JR京都駅より市バス60、JRバス(立命館大学前経由)、阪急電車烏丸駅より市バス1265、京阪電車三條駅より市バス121559、JR円町駅より市バス15にて、いずれも「立命館大学前」下車。